

事業報告書（令和 6 年度）

事業名 つながる子育て～HUG+KUMU

団体名 HUG+KUMU 担当者名 高畠 佐栄子

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

【自然体験】

・ 6/8(土) 『HUG+KUMU どんぐりこぼーく』（「想像してごらん！」ログハウス、親子 19 組

内容：田植え前の泥の田んぼの中を自由に遊ぶ。乳児はログハウス横の庭で水、砂遊び。
昼食炊き出し。）

・ 8/17(土) 『火を囲んで夕涼み会』（百間川せせらぎひろば、親子 4 組、講師 2 名

内容：日沈前はぼたる池で子ども達は遊ぶ。日が沈み始めるころから焚き火。
大人も子どもも火を真ん中に、食や会話を楽しむ交流時間。
講師にはそれぞれ、焚き火体験、パステルアート体験の講師として来ていただいた。）

・ 9/7(土) 『水遊び&わんこそうめん』（百間川せせらぎひろば、親子 5 組

内容：自由にぼたる池や芝広場で遊んだり、のんびり会話や食を楽しむ時間。
昼食に、わんこそうめん支給。）

・ 10/18(金) 『秋・ぶらりピクニック』（吉備の中山、親子 3 組

内容：黒住教駐車場から吉備の中山の広場までの短い距離のピクニック。
広場では、自由に遊びと食と会話を楽しむ時間。）

・ 11/9(土) 『秋の自然散策&旗づくり』（龍ノロググリーンシャワーの森、親子 2 組、講師 1 名

内容：駐車場からグリーンシャワーの森広場まで自然を見つけながら歩く。広場に到着後、
自由に遊んだり、散策、自然物を使った旗づくり。
講師には、旗づくりの準備、当日の体験の講師として来ていただいた。）

・ 2/23(月) 『うどんづくり&焚き火を囲む会』（高野尻テラス、親子 10 組

内容：高野尻テラス内で親子でうどんづくり体験。庭で焚き火を囲みながら昼食にうどん
を食べたり、交流、自由に遊び時間。）

【つながるじかん 『KUMU の日』】（参加対象：親子、大人）

（内容：交流を柱にゆるく集う場。おもちゃや絵本、クラフトなど、自由に遊ぶ。）

- ・ 6/10(月)1組 ・ 7/22(月)1組
- ・ 8/19(月)1組 (講師1名、パステルアートの講師として)
- ・ 9/23(月)2組 (講師1名、パステルアートの講師として)

2. ESDの視点

事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか

- ・ 特性のある子どもを持つ親御さんが、子どもと共に人が集う場にリピーターとして来てくださるようになった。
- ・ リピーターとして来てくださることで参加者とスタッフとの距離が縮まり、立場の垣根を越えて、みんなでこの場をつくっていくという変化が起きてきた。
- ・ 外での場づくり、食のある場づくりをすることで、子どもだけでなく大人も心が開放され、はじめ緊張して来られる参加者さんも自然と笑顔と会話が増えていた。
- ・ 親だけでは、子どもに自然の中での遊びを体験させてることが、ハードルが高いと思われる中、人が集う場に出てきて子ども達を見守る目、関わる手が増えると、親も笑顔で安心して、子どもとの関わりを持つことができていた。

②どのように学び合いを取り入れたか

- ・ 参加している自分自身が場づくりの一人なんだということを自然に感じ、動けるようになるため、スタッフと参加者の垣根を越えられるようなゆるい会話ができる空間づくりを意識した。
- ・ 集う大人みんなで、参加している子どもを見守り、関わる。
- ・ 絵本やものづくり、遊びなど、大人が楽しんで関わる姿を見せることで、子どもも興味を持ち体験につながる。

③どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか

- ・ 参加者が家族でも気楽に行けるような身近な場所選びをしたり、活動中の会話をする中で経験談や情報ファイルなどを活用しお伝えした。
- ・ インスタなどでも、自然はかけ離れたところにあるのではなく、すぐそばにあることを意識づける発信をし、日常でも活かされるよう工夫した。

3. 取組の成果 (事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。)

- ・ 自然の中での活動を通して、集う人同士がゆるく会話をしたり関わりあうことができる“場づくり”を徹底して意識して企画開催したことで、参加者さん同士、また、参加者とスタッフの今後につながる“つながりづくり”が育めた。
 - ・ 自然の中での活動を通して、集う人同士がゆるく会話をしたり関わりあうことができる“場づくり”を徹底して意識して企画開催したことで、子どもも伸び伸びと自由に楽しそうに遊ぶことができた。
- その我が子の姿を見た親御さんの喜ぶ姿、声もたくさんあった。

・ 自然の中で、日々の子育てや子どもの特性についての悩みを聴き会話をする中で、親御さんのほっとした顔や笑顔を見ることができた。

4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）

（課題）雨天時や熱中症が危ぶまれる時のやむを得ない活動中止

（展望）庭付きの古民家など、天候により臨機応変な対応ができる場所探し。

（課題）ハードル高くなく、自然の中での活動に参加できることの発信や団体の認知

（展望）子育て支援団体ともっとつながりあい、求めている人に情報が届くような仕組みづくり

【事業報告書(写真)】

6/8『HUG+KUMUどろんこぱーく』



8/17『火を囲んで夕涼み会』



9/7『水遊び&わんこそうめん』



10/18『秋・ぶらりピクニック』



11/9『秋の自然散策&旗づくり』





R7.2/24『うどん作り&焚き火を囲む会』



月約1回開催『KUMUの日』

